



各部門名の略称を「S」部門と「B」部門に！

各教育部門名称の表記や呼び方を簡便にするために、略称を導入します。

各部門の名称である「肢体不自由教育部門と病弱教育部門」は、昨年度の東京都議会本会議での学校設置条例として可決された正式名称です。ですから届け文書や証明書類には、この名称で記載となります。一方で、校内での名称としては、文字数が長いだけでなく、繰り返し障害種別や病気のことを強調することにも繋がることから、正式名称をあらゆる部分で使い続けることには慎重でありたいのです。そこで、校内での使用や保護者向けの文書用に短く表記でき、軽快で呼びやすい略称を試行的に導入することにしました。しばらくは（ ）内に種別名称を付して混乱なく定着していくようにしていきます。

肢体不自由教育部門 → **S (肢体) 部門**

Sは肢のローマ字読みから取りましたが、スピリットとしては、「肢体不自由から生じる困難を克服しようと努力する学園生が所属する部門」の略だと御理解ください。

病弱教育部門 → **B (病弱) 部門**

Bは、病のローマ字読みから取りましたが、スピリットとしては、「病気と闘い、病気から生じる困難を克服しよう努力する学園生が所属する部門」の略だと御理解ください。

これにより、校内文書等は「S部門保護者各位」といった表記、教職員や学園生間では「B高2の〇〇です。よろしくお願ひします。」と言った会話もいずれ交わされていくことでしょう。5/1から全校的に導入していきます。

今年度の指導体制編成について

教員に関する指導体制一覧について4月当初に資料配布によりお知らせいたしましたとおり、両部門の学園生総数208名、教職員総数212名で新年度をスタートしました。学級編成と教員配置については、学園生の実態(学習の進み具合、身体や運動機能の状態、健康状態、認知・行動、理解特性、コミュニケーション特性、社会性、必要とする指導環境他)を踏まえた上で、各教職員

の指導経験、所持免許、転出・転入者の所持免許や経験・専門性に応じた補充や配置対応、若手教員の育成体制確保(熟練教員による指導体制構築)等様々な観点から熟慮し、決定しました。

学校教育では、4月から翌年3月までの1年間を単位として学級を作り、目標設定と指導を重ねて修得するサイクルを年々積み上げて成長を促しています。今年度の新たなサイクルが始まりました。この節目に新たな担任教職員や新たな友人と出会うことで、学園生の新たな一面が見出され、さらなる成長へと繋がっていく絶好の機会でもあります。

日々の指導が実を結ぶには、家庭教育との連動があってこそ！力を合わせて学園生を育てていきましょう。

本年度の「光明学園」の経営計画について

学校経営計画とは、校長と教職員が一丸となって、本校の教育の何をどのように充実させていくのかを具体的に示したマニフェスト=約束です。以下にその概略をまとめました。(確定版4/30までに本校ホームページに掲載します。)開校したばかりの本校にとって、これからの3年間が学園構築期です。

平成29年度

東京都立光明学園 学校経営計画の概略

特別重点目標 / 開校期3年間の基盤整備事項

特別重点 併置型学園としての魅力ある教育を創出していきます！

良さ開発 / 各種別の教育を大切にした上で、併置化の良さを生み出す教育活動を開発します！(両部門の交流や合同学習の機会、互いの専門性を活用し合える土壤)

学園マインド / 一体感をもてるように学園生の気持ちを醸成します！(式典や一緒に参加する行事等)

新校舎準備 / 校舎建築中の対応や新校舎への円滑な移行を担当する校内組織を整備して準備を進めます！

情報発信 / 新学園が有する両部門の多様な機能をホームページや掲示板を用いて広く発信していきます！

資質向上／学園信頼の基盤となる教職員の接遇マナーの向上を図ります！（服装・案内・電話対応他）

特別重点 専門人材を活用して充実に繋がります！

指導チームの充実／学校介護職員（肢体部門）や訪問支援員（病弱部門）と教員の協働体制を充実させます！

良い授業づくり／学習指導アドバイザーを人材活用して授業の質的向上を図ります！

保護者への支援／専門家を招聘して全保護者を対象にした学習会「考える力を育てる」を開催します。

最重点目標 / 学校として最も力を注ぐ事項

最重点 1 教員個々の授業力の向上を図ります！

授業の充実／授業者支援会議の手法を導入し、授業者への応援を通して具体的な改善を図ります。

指導技術の向上／特別講師を招聘し、全教員を対象にした指導実技型の授業力向上研修を導入します！

指導に関する説明力の向上／授業参観ガイドを作成して事前配布したり、学園生自身に評価が伝わりやすいように通知表を工夫したりします！

最重点 2 各部門の専門性を発揮して、特色ある教育を進めます！

学力調査の充実／両部門高等部では、都立高校入試に準拠した学力調査問題を作成して用います。また過去問題を次年度の入学希望者に配布し、学力調査に備えることができるようにします。（準ずる課程）

補習の機会提供／将来の進学等に備え、教科学習に関して自ら学ぶ意欲のある学園生への補習の機会を提供します。（準ずる課程）

課外活動の機会提供／将来生活を見通して、希望する学園生に課外活動の機会を提供します。（全課程）

ICT教育の推進／病院内教育・在宅訪問教育も含めて全校で、タブレット型端末等ICT機器を活用した教育の充実を図ります。

聴く読書推進／主に肢部門で、民間財団との共同開発研究による音声メディアシステムを活用していきます。

都顕彰校としての活動／都指定の「オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校」として更に活動を広げ、成果の普及・啓発に努めます。

都実施校としての活動／都指定の「夢・未来プロジェクト実施校」として体験教室や交流活動を展開します。

最重点 3 児童・生徒が安心して学校生活を送れる生活指導體制を構築します！

防災対策の充実／両部門合同防災訓練や宿泊防災訓練の実施により、防災対応力を高めます。

地域との共助／地域との相互協力関係を構築します。

最重点 4 安心できる保健体制と安全で美味しい給食を提供できる体制の構築

健康・安全／両部門を一つの保健室で対応できる保健・緊急対応システムを構築します。

医療的ケアの充実／都の新要綱を踏まえた医療的ケア体制を構築します。他特別支援学校への支援も行います。

給食タイムの充実／アレルギー事故防止も含め、安全で美味しい給食を提供します。また、形態食の提供とあわせて個に応じた摂食指導を進めていきます。

最重点 5 地域支援の充実

PTA活動への協力／大会開催に協力していきます。

最重点 6 安全で魅力ある環境にしていきます！

校内の美化／校内の整理と美化を進めるとともに、掲示物を更新・充実させていきます。

「光明学園の開校」が3紙で新聞報道されました！

日本教育新聞（全国の公立学校や関係者に広く購読されている新聞です。）の4/17日版では「肢・病併置の都立光明学園が開校式…この4月に新たなタイプの併置型特別支援学校として開校した東京都立光明学園が10日に開校式を行った。母体校は、昭和7年に日本で初めて公的に肢体不自由教育を行った旧光明特別支援学校と、都内における病弱教育の一大拠点として80年の伝統を積み上げてきた旧久留米特別支援学校。開校式では、両母体校の児童・生徒から募った言葉を紡いだ詞とシンガーソングライターの平田輝氏作曲による式歌『僕らは翼を持っている』も披露された。」

他に平田輝氏の故郷で発行されている「奄美新聞」では7段抜き大きな記事で式歌の歌詞全文とともに紹介されました。さらに、南海日日新聞にも大きく紹介されました。

「光明学園ホームページ」リニューアル中！

東京都教育委員会のホームページの肢体不自由学校・病弱校一覧では、母体校名も新学園名も現在見えなくなっています。インターネットで「光明学園」と検索してみてください。新たな内容が御覧になれます。
<http://www.komeigakuen-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/index.html>
新しい校章（紺地に金色の校章）が確認できれば、新ホームページです。尚、今も見ることのできる旧版のホームページが検索でヒットする場合があります。その場合は以前の校章が表示されますので御確認ください。

現在、両母体校から引き継ぐ内容や新たに掲載する内容を整理し、さらに情報を加え、アップする作業を進めています。

校長 田村 康二郎

4月21日（金）に離任式が行われました。

肢体不自由教育部門

この春、旧光明特別支援学校を異動された先生方の離任式がありました。

児童・生徒・保護者の方・教職員の大きな拍手の中、異動された先生方が入場されました。

校長から最初に、児童・生徒・保護者の方々に向けて、篠崎前校長先生からのメッセージが読み上げられました。『みなさま、こんにちは。私は現在都立水元

小合学園の校長をしています。元光明特別支援学校で皆さんと過ごした楽しい思い出は忘れられません。毎朝、元気にスクールバスから笑顔で降りてくる皆さんの笑顔にたくさんの元気と勇気をいただきました。これからも、校長先生をリーダーとしてよりよい光明学園を共に仲良く創り上げてください』

その後、各先生方からの心のこもったお話がありました。その後、代表生徒から先生方との涙のお別れの言葉がありました。先生方新天地でもお元気で。

病弱教育部門

この春、旧久留米特別支援学校を異動された先生方の離任式がありました。

児童・生徒・保護者の方・教職員の大きな拍手の中、異動された先生方が入場されました。

校長から最初に、児童・生徒に向けて、山本前校長先生からのメッセージが読み上げられました。

『光明学園の皆さんへ 私は4月から都立石神井特別支援学校の校長をしています。光明学園の学校生活

も落ち着き、毎日勉強に励んでいると思います。先日の開校式で旧久留米の生徒の態度が立派な態度で式に参加しており、大変嬉しく思います。光明学園の文化祭を見に行きたいと思っています。またお会いできる日を楽しみにしています。』

先生方は、旧久留米から来た中学生や高校生が昨年度と変わらず元気に学校生活を送っていることに安心されたと思います。式の後、病弱教育部門の教室を訪れ、先生と生徒たちでしばし歓談しました。また、秋の文化祭（光明祭）の折にはご来校ください。